

令和3年度「阪南市市民協働事業提案制度」事業 継続実施状況

資料2

事業の名称	団体名称	事業担当課	事業内容	初年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
				実績	実績	実績	実績
1 放課後の子どもの居場所事業	特定非営利活動法人子どもNPOはらっぱ	生涯学習推進室	子どもたちがありのままの自分でいられ、休息を取り戻し、自由に友だちと遊び、安心して人間関係を作りあうことができる「子どもの居場所」を地域に確保し、存続させることを目的として、平日の放課後、3会場(ふれあいホーム・尾崎公民館・西鳥取公民館)において実施する。	<平成26年> ・東鳥取会場(毎月月曜日15時～17時・長期休業中13時～17時)年49回実施 ・尾崎会場(毎月水曜日15時～17時・長期休業中13時～17時)年49回実施 ・西鳥取会場(毎月金曜日15時～17時・長期休業中13時～17時)年49回実施 ・3会場全体交流会年4回実施(長期休業中)	・ふれあいホーム(毎週金曜日15時～17時、長期休業中13時～17時)年51回実施 ・地域交流館(第1・3・5水曜日15時～17時、長期休業中13時～17時)年53回実施 ・西鳥取会場(第2・4水曜日15時～17時、長期休業中13時～17時)年23回 ・土曜日:西鳥取小、尾崎小(10時～12時)、東鳥取小(15時～17時) ・3会場全体交流会年6回実施(長期休業中3回)	・ふれあいホーム(毎週金曜日15時～17時、長期休業中13時～17時)年38回実施 ・地域交流館(第1・3・5水曜日15時～17時、長期休業中13時～17時)年25回実施 ・西鳥取会場(第2・4水曜日15時～17時、長期休業中13時～17時)年15回実施 ・土曜日:西鳥取小、尾崎小、朝日小(10時～12時)、東鳥取小(15時～17時)	・ふれあいホーム(毎週月曜日午後3時～5時と月1回土曜日)年57回実施 ・西鳥取会場(毎週水曜日午後3時～5時)年44回実施 ・東鳥取会場(毎週金曜日午後3時～5時)年51回実施 ・朝日小学校、尾崎小学校、地域交流館、サラダホール(土・日曜日・長期休暇など:原則10時～12時)年11回実施
2 阪南市フレンドシップコンサート	阪南市吹奏楽団	学校教育課	市内中学校の吹奏楽部への技術支援を通して、教育環境の活性化と青少年の健全育成を行う。文化センターでの大規模なコンサートだけではなく、地域や学校で現在行われている吹奏楽部のコンサートでの阪南吹奏楽団との合同演奏も視野にいれ、地域に根差した音楽のあるまちづくりをめざす。	<平成26年> 【支援回数】 貝掛中学校 3回(7月) 鳥取東中学校 2回(6月、7月) 飯の峯中学校 2回(6月、7月) 【合同演奏会】 平成26年12月21日(日)桃の木台自治会主催「光のページェント祭 クリスマスコンサート」(飯の峯中学校吹奏楽部)	活動支援 鳥取東中学校 7月(2回) 貝掛中学校 6月(2回) 尾崎小学校 7月(1回)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための緊急事態宣言や学校の臨時休校、文部科学省発出の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」における、至近距離で行う管楽器演奏が感染リスクの高い学習活動とされていることなどを鑑み、今年度は実施せず。	新型コロナウイルス感染症拡大のため、昨年度同様に事業実施について何も行うことができていない。 今後については、協働で練習を行うことが難しくなっているため、吹奏楽団代表による一斉指導など、できることを実施していきたいと考えている。
3 男里川水系一斉清掃行動	男里川水系環境保全活動実行委員会	道路公園課	男里川水系の環境保全を学習するため、阪南市の地域の皆さんと男里川水系環境保全活動実行委員会や大阪府、阪南市の関係機関が協力し、1年間を通じて、「水辺の観察会」や「水辺の学校活動」、「環境・美化啓発ポスター募集」、「男里川(山中川・うど川)水系の清掃活動」などを実施する。	<平成26年> 8月中旬頃 観察会等に関する活動について 8月下旬頃 水辺の学校活動について 9月～12月 環境・美化啓発ポスター募集について 2月21日 男里川(山中川・うど川)水系の一斉清掃活動について	7月～ 環境美化ポスター募集(夏休み終了まで) 8月上旬 夏休みの親子の水生物観察会 9月 男里川水辺の学校 11月 環境・美化啓発ポスター展示(約200人) 2月 男里川水系の一斉清掃活動(約200人) はんなんTVに出演し、一斉清掃について告知及び活動について周知	7月～ 環境美化ポスター募集(夏休み終了まで) 8月上旬 夏休みの親子の水生物観察会 9月～10月 男里川水辺の学校 11月 環境・美化啓発ポスター展示(約200～300人) 2月 男里川水系の一斉清掃活動(約200人)	・毎月第4日曜日 : 毎月1回の月例(約5～15名) ・2月第3土曜 : 男里川水系一斉清掃(約75名)
4 子どもの声を聴き共有するラウンドテーブル(円卓会議)事業	特定非営利活動法人子どもNPOはらっぱ	学校教育課	子どもたちが安全・安心に暮らせる、笑顔あふれるまちづくりを実現するために、行政との情報共有の関係づくりをすることで、子どもの現状や子どもの周りで起きている問題・社会課題の解決を図っていく。	<平成27年> ・学期ごとにラウンドテーブルを開催(提案団体、学校教育課、生涯学習推進室、こども家庭課) 平成27年7月1日 平成27年12月16日 平成28年1月28日 上記の他、毎月、提案団体と各担当課で情報共有	・ラウンドテーブルを開催(提案団体、学校教育課、生涯学習推進室、こども家庭課) ・令和1年8月28日 ・令和1年12月26日 3月も開催予定だったが、コロナウイルス流行の影響で開催を断念。	新型コロナウイルスの影響で開催を断念。	・ラウンドテーブルを開催(提案団体、学校教育課、生涯学習推進室、こども家庭課) ・令和3年12月22日 時間短縮し、小人数で1回のみで開催となったが、団体と担当課の間でそれぞれの取り組みを共有し、コロナ禍における阪南市の子どもの現状や課題を情報交換した。

事業の名称	団体名称	事業担当課	事業内容	初年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
				実績	実績	実績	実績
5 本のリサイクル関連事業	本のリサイクル運営委員会	図書館	現在、年3回行っている図書館主催の除籍資料を活用する「本のリサイクル事業」を、「市民協働事業」として実施することで、開催頻度の拡大を求める市民ニーズを解決し、廃品となる本を減らす。 また、事業実施団体はリサイクル本を有償で売却し、その収益を公共の福祉に使用するとともに、リサイクル事業の場を新たな市民交流・市民活動の場とする。	<平成29年> ・月に1回「本のリサイクル運営委員会」を開催。 ・リサイクル事業開催場所は、当初予定のサラダホール2階ではなく、1階レストラン跡に変更し、名称は「リサイクルブック“つながり”」となった。 ・書架・ブックトラック等の物品を購入した。 ・9月16日(土)にオープニングセレモニーを開催。 ・以後毎週土曜日の午前10時～12時、午後1時～3時に「リサイクルブック“つながり”」を開店し、除籍本・寄贈本を販売。	・「ほんのリサイクル運営委員会」を10回開催。 ・来館者 3,731人 ・売上冊数 2,359冊 ・図書館から除籍本4,275冊贈与、寄贈本3,663冊 ・今年度の収益から公立保育所、幼稚園等17施設に書籍購入支援を実施	・月に1回「ほんのリサイクル運営委員会」を開催。 ・来館者1,994人 ・売上冊数 3,523冊 ・図書館からは6,017冊贈与(内訳:除籍資料2,383冊・除籍雑誌1,023冊・不要となった寄贈資料2,611冊) ・今年度の収益から社会還元の一環として図書館の来年度の雑誌スポンサー7誌の年間購読料を負担することが決定。	・月に1回「ほんのリサイクル運営委員会」を開催。 ・来館者1,994人 ・売上冊数 3,523冊 ・図書館からは6,017冊贈与(内訳:除籍資料2,383冊・除籍雑誌1,023冊・不要となった寄贈資料2,611冊)
6 阪南市やぐらパレードバリアフリーマップ作製とバリアフリー観覧席設置	泉州バリアフリー協会	市民福祉課 まちの活力創造課	阪南市の一大集客イベントであり、市民が一同に会する「やぐらパレード」を通じて、地域の連帯を深め、阪南市の魅力を再認識する機会を創造する。 具体的には、やぐらパレードが実施される地域を中心に、障害者の方と供に(車椅子ユーザー)バリアフリーの現状を現地調査検証し、情報収集を行い、やぐらパレードバリアフリーマップの企画・編集・作製を行い、パレード当日は観覧席設置運営、やぐら巡礼まち歩き等を実施する。	<令和元年> 阪南市やぐらパレードバリアフリー点検の実施。 阪南市やぐらパレードバリアフリーマップの作成。 阪南市やぐらパレードバリアフリー観覧席の設置。 阪南市やぐらパレードコース、尾崎駅界隈の街歩き。	・阪南市やぐらパレードバリアフリー点検の実施。 ・阪南市やぐらパレードバリアフリーマップの作成。 ・阪南市やぐらパレードバリアフリー観覧席の設置。 ・阪南市やぐらパレードコース、尾崎駅界隈の街歩き。	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、阪南市やぐらパレードが中止となった。それに伴い、本協働事業の取り組みが実施できなかった。	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、昨年に引き続き阪南市やぐらパレードが中止となった。これに伴い、本協働事業の取り組みが実施できなかった。
7 コットンワークス円卓会議	コットンワークス	まちの活力創造課	阪南コットンはふるさと納税返礼品の採用などと地域ブランドとして認知されてきた。しかしながら、昨今の生活様式や多様化に伴いコットンへの依存度や、機織り機技術伝承も困難となってきた。 そのような中、コットンの木栽培や機織り、展示会の実施などコットンに関し、多くの関係者がそれぞれ独自に事業を実施している。その関係者に対し、話し合いのできる場を設けることで、新たな事業の展開を生み出すことを目的に、年に複数回、円卓会議を実施する。			新型コロナウイルス感染拡大により、円卓会議が実施できず、コロナ禍における活動環境の見直し等を行うため、活動休止。(令和2年12月28日付、令和3年1月1日～令和3年6月30日間の事業休止届の受理。令和3年1月5日付、承認通知書発行。) 来年(令和3年度)に事業報告会実施予定。	休止期間以降も円卓会議の実施できず、さらに、団体として組織的問題が発生し、今後の円卓会議実施の見通しが立っていない状況。
8 阪南市コミュニティWEB配信「はなていch。」	泉州電波発信協会	秘書人事課	現在、市で実施している「阪南TV」の課題を踏まえ、阪南市の面白さを全国に伝えるメディアを作る。				月1回の番組制作会議を市担当者と団体間で設けるとともに、必要に応じ適宜打合せを行い、毎月第3火曜日に市内各所にて、事業目的に沿った内容で、5～10.分程度の映像を月に2本程度作成。